

被爆80年に見る 広島大学の 科学と平和



－第1部－

霞キャンパス被爆80年の現在地

13:00～14:50（予定）

広島大学医学部の前身校・県立広島医科大学は、1945年8月5日に開校しました。戦後、医学部は陸軍兵器補給廠の赤レンガから出発し、現在の霞キャンパスが形作られてきました。第1部では、原爆を経験し、命を奪う軍事の場から転換して命を生かす医療と医学の場となって、地域とともに歩んだ霞キャンパスー医学部、歯学部、薬学部、原爆放射線医科学研究所ーの【これまで】を振り返り、【これから】を考えます。

▼講演▼

大学院医系科学研究科（医）教授 村上 祐司

「『放射線』を恐れから希望へ

—放射線治療の現在地—」

大学院医系科学研究科（歯）教授 柿本 直也

「被爆と歯科医師、被曝と口腔管理」

大学院医系科学研究科（薬）教授 紙谷 浩之

「放射線で生成するDNA損傷塩基がもたらす

予想外の影響」

原爆放射線医科学研究所 教授 廣橋 伸之

「広島・長崎の経験から学ぶ

これからの放射線災害医療の構築に向けて」

－第2部－

ノーベル平和賞と広島大学の科学者

15:00～16:20（予定）

今秋、ノーベル平和賞を受賞した科学者組織の大会が2つの被爆地で開催されますが、ここに、広島大学の研究者が尽力しています。第2部では、広島開催のパグウォッシュ会議で活躍する稻垣知宏 日本パグウォッシュ会議代表（情報メディア教育センター教授）と長崎開催のIPPNW（核戦争防止国際医師会議）世界大会に奔走した田代聰 IPPNW日本支部事務総長（原爆放射線医科学研究所教授）にご報告いただきます。

▼報告▼

日本パグウォッシュ会議代表

（情報メディア教育研究センター教授）

稻垣 知宏 及び 学生

ファンデルドゥース 瑞璃（平和センター長）

IPPNW日本支部事務総長

（原爆放射線医科学研究所教授）

田代 聰 及び 学生

2025年

12月20日（土）

13:00～16:20

（12時半受付開始）

広島大学 霞キャンパス
凌雲棟3階（R304）

入場無料

お気軽にご参加ください！



霞キャンパスへの
アクセスはこちら↑

お申込は
こちら！



凌雲棟

<https://forms.office.com/r/Z2jtJnkHd7>

お問い合わせ 広島大学原爆放射線医科学研究所

☎ 082-257-5802